Q2. 令和２年７月豪雨の検証は行ったのでしょうか。

○　令和２年７月豪雨発生の直後に「将来に向かって球磨川流域住民が生命の危険に晒されることなく、安全・安心な生活がおくれるよう、国、県、流域 12 市町村が連携し、令和２年７月球磨川豪雨災害に関する検証を行うこと」を目的として、令和２年７月球磨川豪雨検証委員会を設置し、第１回委員会（令和２年８月 25 日）、第２回委員会（令和２年 10 月６日）において、以下の事項を検証しました。

・令和２年７月豪雨の概要について
　　【気象概要、観測雨量、観測水位】
・令和２年７月豪雨の被害状況について
　　【家屋被害、施設被害、人的被害】
・浸水範囲と氾濫形態について
・洪水流量の推定について
・市房ダム等における洪水調節について
　　【利水ダムの事前放流、市房ダムの操作と効果】
・「ダムによらない治水を検討する場」での治水対策について
・「ダムによらない治水を検討する場」でのソフト対策について
・「球磨川治水対策協議会」で検討していた治水対策について
・仮に川辺川ダムが存在した場合の効果について
・初動対応について

○　検証にあたっては、客観的な事実を確認するとともに、国、県、流域市町村が保有するデータなどを基に、科学的に検証を行いました。

○　また、被害が甚大であった人吉市、球磨村、芦北町、八代市坂本町、相良村、山江村の 23 地区 26 人の住民の方々にヒアリングを実施しており、千寿園で亡くなられた方々の状況もお聴きしています。

○　令和２年７月豪雨の検証については、国土交通省八代河川国道事務所のホームページ「令和２年７月球磨川豪雨検証委員会」に掲載しています。